



就 任 挨 拶

栃木県県土整備部

部長 小 野 和 憲

この度、栃木県県土整備部長に就任しました小野でございます。

栃木県建設業協会の皆様には、日頃から本県の県土整備行政の推進について格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

建設業は、社会資本の整備や保全を担う産業として、地域の経済と雇用を支えるとともに、災害時には初動対応から復旧作業に至るまで、現場の最前線で地域の安全・安心を確保するなど、非常に重要な役割を担っています。栃木県建設業協会の皆様には、「地域の創り手」としての役割はもとより、近年においても災害対応・復旧や豚熱の防疫活動など、「地域の守り手」として御尽力をいただいているところであり、重ねて御礼申し上げます。

さて、県におきましては「県土づくりプラン 2021」を指針として、11の「重点施策」及び6つの「横断的施策」に基づき、道づくりや流域治水対策など各種施策に取り組んで参りました。本年度は計画の最終年度となりますことから、頻発・激甚化する大規模自然災害から県民の生命・財産・暮らしを守り、インフラの老朽化などの課題解決を図るため、社会資本整備の加速化を図り、とちぎの未来を築く県土づくりをより一層推進して参ります。

また、建設業におきましては、労働環境の改善を図るため、原則全ての工事を受注者希望型週休2日制工事の対象とするほか、工事着手までの余裕期間を設定した工事の発注による施工時期の平準化に努めるなど、働き方改革に向けた取組を積極的に推進して参ります。併せて、担い手の育成・確保のため、資格・技能取得の支援や建設業・建設現場の魅力を伝えるなど、建設産業の持続的な発展に向けて取り組んで参ります。

加えて、生産性の向上を図るためにはデジタルを活用することが必要不可欠です。インフラ分野におけるDXを推進するため、「とちぎインフラDX構想」に基づき、建設生産プロセスのあらゆる段階における効率化・高度化を進めることにより生産性を高めるほか、県民の生命と財産を守る観点から、防災・減災分野におけるデジタル化を重点取組として加速させ、県民サービスの向上を図って参ります。

今後とも、県におきましては、福田知事が掲げました「未来への投資～共に創る とちぎの明日～」を実現するため、災害時の緊急対応強化をはじめ、担い手の確保・育成、働き方改革の推進、生産性向上への取組など、直面する課題の解決に向けて「地域の創り手・守り手」である皆様と更なる連携を図って参りたいと考えておりますので、より一層の御支援、御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の更なる御活躍を祈念申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。